

# 島根県総合美術展



日本画、書、洋画、工芸、写真、デザイン、彫刻の7部門

中央展

令和6年11月16日(土)～11月24日(日)  
島根県立美術館 企画展示室およびギャラリー  
開館時間／10:00～18:30(入場は18:00まで)  
※最終日は10:00～15:00 11月19日(火)は休館日です。

移動展

令和7年3月6日(木)～3月9日(日)  
島根県立石見美術館(グラントワ内) 展示室  
開館時間／9:30～18:00(入場は17:30まで)  
※最終日は9:30～16:00

■主催／島根県文化団体連合会、島根県 ■共催／公益財団法人しまね文化振興財団 ■主管／島根日本画協会、島根書道会、島根洋画会、山光会、島根工芸連盟、島根写真作家協会、島根県写真家連盟、島根デザイン連盟、島根彫刻会 ■協賛／朝日新聞松江総局、毎日新聞松江支局、日本経済新聞社松江支局、産経新聞社、山陰中央新報社、島根日日新聞社、共同通信社松江支局、時事通信社松江支局、BSS 山陰放送、日本海テレビ、エフエム山陰、公益財団法人ごうぎん文化振興財団、島根県公立文化施設協議会、しまねミュージアム協議会 ■後援／読売新聞松江支局、新日本海新聞社、中国新聞社、TSK さんいん中央テレビ、NHK 松江放送局、島根県ケーブルテレビ協議会  
表紙デザイン：森脇玄太(第56回県展デザイン部門知事賞受賞者)



# 目 次

日本画	1
書	5
洋画	11
工芸	16
写真	21
デザイン	28
彫刻	32

## 審査員一覧

### 【県外審査員】

工 芸	藤井 茂樹氏 (新見美術館館長)
写 真	吉村 和敏氏 (公益社団法人日本写真協会正会員)
デザイン	寺井 剛敏氏 (金沢美術工芸大学教授)
彫 刻	兼原 啓二氏 (長崎大学人文社会科学域 (教育学系) 准教授 自由美術協会会員 長崎県美術協会会員)

### 【県内審査員】

日本画	小村俊美、大森幹雄、東野布由美、広田あつ子、福間小夜子、三島京子、村上ななほ、森脇純子、吉岡珠恵、米原ひろこ
書	伊藤蘭峯、井上洋美、小田厚美、鎌田敬子、戸津川政世、中尾弘子、野上昭子、三代郁子、室下景雲、山崎銀川、山本英雲
洋 画	石橋 博、岩崎久美子、岩田明美、岩田賀代子、梶谷修弘、鹿島昭一、春日裕次、勝田敏夫、金築秀俊、神門芳子、神庭 明、杵築 伸、北本雅己、木下幸子、熊谷侑子、藏敷真弓、栗原清司、近藤 隆、佐藤收男、渋谷慎治、水津保美、杉谷俊一、杉原孝芳、田中敬二、常松淳子、寺井壽一、鳥屋尾敬、永尾和子、花谷久代、樋野 梢、持田隆志、森山 恭、山岡晴夫
工 芸	吾郷江美子、荒尾浩之、石村 稔、犬山卓也、内田和秀、藤間 寛、長岡住右衛門、濱田幸介、福郷 徹、正木 潤、松浦弘美、松本三千子、渡部良和
写 真	石飛桂子、井上健治、江川安夫、大坂 武、大下浩昭、岡田文夫、川本貢功、小林茂雄、酒井重礼、藤原静雄、盆子原政司、三加茂幸子、森脇寿一、吉崎佳慶
デザイン	石野 眞、寺尾 堂、近藤 隆、平江 透、遠藤 毅、秋國紋子、稲田通子、内田京子、奥美奈子、春日謙一、小原恭子、品川良樹、玉木喜久代、柳楽武臣、錦織秀行、野々内政美、原 真人、山川房子、代高田由梨
彫 刻	伊藤眞美、近田裕喜、田中俊晞、松本健志、山岡弘廸

# 日本画

応募点数	34点	招待作品	12点
入賞点数	7点	展示点数	46点
入選点数	27点	◎は移動展出品作品	

(総評) ここ数年日本画は出品数の減少に悩まされていますが、今年は新人の出品が6点となりその中で2名が、金賞と奨励賞という結果になりました。出品数は残念ながら本年は2点減となりました。その原因を見ると本年は西部からの出品が2点。昨年よりも3点減という結果となり、翌年グラントワで開催される県展日本画が少し寂しいものとなりました。

さて、作品につきましては、先程の結果のように、経験を積んだ方、まだ日の浅い方の区別が、私が日本画を始めた頃と大きく違っているということ、又絵に男性、女性の区別が全く見られないということです。日本画人口は減っているのにレベルは毎年あがっているということ、色の美しさ、構図、マチエールのおもしろさ等です。

高齢化や、時代の流れに抱える問題は多いのですが、新人の増と自由な画風の日本画の飛躍に来年の出品に期待しようと思います。

(文責 東野布由美)

知事賞 ◎

和

野津恵子 (松江市)

身近な家族を題材にされた家族愛溢れる作品。人物を包むように描かれた花を単なる空間にせず意図をもって丁寧に描かれ、静かな中にも力強い、色彩豊かな作品になっています。描法と構成力と色彩感覚が響きあって独自の表現が描き出された見応えのある秀作です。

(文責 福間小夜子)

金賞 ◎

古木

錦織典子 (松江市)

爽やかな色彩とのびやかな形態の作品ですが、じっと見るうち、実にセオリー破りの絵であると気づきます。古木の藤の幹の、肉感的な樹皮の奇怪さ。軽やかに上昇する細い枝。柔らかな葉。厚みのない支柱。草むらしき点描。渦まく空。構成要素の全てが異なる表現です。下手すれば、バラバラな印象になりかねないのに、見れば見るほど、作者の世界にひきこまれます。高い集中力と多くの手数をかけて描きこまれたことすら、観賞者に気づかせぬほどの、見事な力わざです。

(文責 三島京子)

銀賞 ⑧

## うたかた

よし の みつ き (出雲市)  
吉野瑞生

今まで私もこの風景を何度も描いてきましたが、浅い流れと砂の表現は難しく、いつもはね返されてきました。

この作品を観た時、こんな表現があったのだと感心して見入ってしまいました。使い方の難しい紫色を巧みに使い、大河特有の雄大さや時空、そしてたゞよう空気感も素晴らしい表現に仕上がりました。

伝統的な日本画の技法を使いながら新しい感覚の入った秀作だと思います。

(文責 小村 俊美)

銀賞 ⑧

## 古代への誘い

きた わき とよ し (出雲市)  
北脇豊史

古代の住居は各地にあり、見慣れている方も多いと思います。茅葺き屋根を画面一杯に置かれ、ドッシリ質感があり存在感があります。鍋の下の火と、玄関入り口廻り、薪や、内側の扉に、もう少し明るさを拾ってみたら魅力的に、古代への想いへと誘ってくれるかなと思います。

(文責 村上ななほ)

銅賞 ⑧

## 俺の朝

あり た ひで こ (出雲市)  
有田秀子

新聞を読む日常の一コマ、人物の独特な肌の質感が力強さを強調されています。もう少し、柔らかくおさえる所があってもよかったです。

新聞の細かな描写など、リアルに仕上げられ全体的にまとまりがあります。

題名に寄せる作者の気持が十分に表された佳作でした。

(文責 広田あつ子)

銅賞 ⑧

## 300年桜

いな むら まさ し (出雲市)  
稲村正志

写実を追求し、細部まで丁寧に描かれています。いつもながら作者の実直さを感じる作品です。

悠久の歴史を生きる重厚な古木の力強さと桜の花の優美な可憐さが共生し、舞い散る花卉に微風すら感じます。

欲を言えば、バックのグラデーションを綺麗に処理されるとより美しい情景を演出できると思います。

卓越したデッサン力を基盤にこれからも自分らしい世界観を深められますことを期待しています。

(文責 吉岡 珠恵)

## 銅 賞 ⑩

やま あき  
山ぼうしの秋おん だ こ  
恩 田 ゆき子 (奥出雲町)

作者は、的確な植物写生のもと、山ぼうしの樹を丁寧に描き込んでいます。

画面全体を渋く落ちついた色調で現わし、中央部にリズム良く、色あざやかな実を配してあり、楽しげに秋風にゆれています。

温もりある深い余韻が伝わる佳作です。

更なる追求と精進を期待します。

(文責 大森 幹雄)

## 入 選

	題 名	氏 名	備 考
	冬映え	黒 田 育 子 (出雲市)	会員
	望郷	福 間 美智子 (出雲市)	会員
	追想	原 邦 子 (出雲市)	会員
	想	井 上 櫻 子 (松江市)	会員
	ALOHA TO YOU	佐 藤 さゆみ (出雲市)	会員
	ウバユリ	松 下 純 子 (出雲市)	会員
⑩	・・・ん?	渡 麻 矢 (大田市)	会員・日本画協会奨励賞
⑩	うつろふ	清 原 茂 治 (松江市)	会員・日本画協会奨励賞
	明日へ	井 上 智 子 (松江市)	日本画協会賞
⑩	水鏡	引 野 春 雄 (出雲市)	日本画協会奨励賞
	続く	片 石 栄 子	日本画協会奨励賞
⑩	うれしくてさみしい日	三 浦 泉 (松江市)	日本画協会新人賞
	昼下り	原 真由美 (出雲市)	
	Nirvana	中 林 由加理 (出雲市)	
	夏の果	千 原 優 子 (奥出雲町)	
⑩	黎明	山 根 立 成 (益田市)	
	月 Magnolia	青 木 佳寿枝 (出雲市)	
	木洩れ日	飯 塚 眞 治 (出雲市)	
	浪	岸 井 二 美 (松江市)	
	からすうり	岩 崎 隆 (松江市)	
	3百年の伝承	阿 部 明 美 (松江市)	
	おでかけ前に	荒 川 ゆかり (安来市)	
	ごぼうの花が咲きました	宇田川 京 子 (奥出雲町)	
	優美	目 黒 誠津子 (奥出雲町)	
	春の妖精	塚 本 治 代 (奥出雲町)	
	今宵の君	村 上 純 子 (松江市)	
	静寂の薔薇	藤 原 久 枝 (安来市)	

## 招待

	題名	氏名	備考
④	游	吉岡珠恵 (松江市)	
	スーイ スイスイ	福間小夜子 (出雲市)	
④	郷愁	森脇純子 (出雲市)	
	登り窯	米原ひろこ (出雲市)	
	石段の向こう	広田あつ子 (安来市)	
	水無月の月	東野布由美 (出雲市)	
	出雲の春 (灘分にて)	小村俊美 (出雲市)	
	育	大森幹雄 (出雲市)	
	晩秋	村上ななほ (松江市)	
④	女	三島京子 (松江市)	
	牡丹観音	安部富男 (松江市)	
	風	中村康二 (奥出雲町)	

# 書

応募点数	119点	招待作品	20点
入賞点数	7点	展示点数	139点
入選点数	112点	◎は移動展出品作品	

(総評) 今回で五十七回展を迎えた県展。半世紀を過ぎ発展的に開催される事は誠に嬉しい限りである。島根県総合美術展の中でも、書道分野はアナログ世界を堅持しつつ、古典を基調とし、現代書を求め日々研鑽に努められ、今回展も発想豊かで個性表現を表わした力強い作品が多く見られた。目的のひとつである芸術文化向上にもささやかながら寄与できていると確信しているところである。今回展は特にニューホープ（高校生）の出品作品が過去最高となり、書道界にとっても明るい兆しを感じた。書の道は「蝸牛の如し」と言われるように派手さは無いが、日々、それぞれの出品者が最大限の力を込め書き上げた作品群により充実した展覧会となった。

(文責 室下 景雲)

知事賞 ◎

まち  
街をゆき

よね だ しょう らん (奥出雲町)  
米 田 照 蘭

流れるような線で墨色の変化が美しい。文字の大小を織りまぜての構成は用紙を含め、工夫の後がうかがえる。

(文責 野上 昭子)

金賞 ◎

し  
みすずの詩

まつ もと けい せん (松江市)  
松 本 圭 仙

上下の余白をうまく取り斬新な構成になった。線質も多様であり、詩文書を楽しみながら書かれている。みすずの詩と作風が実によく調和し、見て楽しい作品になった。

(文責 鎌田 敬子)

銀賞 ◎

まど  
窓

やま うち ふ き こ (大田市)  
山 内 富紀子

明るく澄んだ墨色で書かれた作品。

巧みに筆の太細を使い終筆は上向きに落ちつかせた。作者が過去に見た窓からのより良い光影を連想させ、楽しさを感じる快作である。

(文責 井上 洋美)

銀賞 ③ <sup>ふうようろか</sup> 楓葉蘆花 <sup>ふじ はら あけみ</sup> 藤原明美 (大田市)

漢詩七言一句を創作した書。文字構成の配置が巧みで、運筆も大きく、二行書で堂々として見事である。余白も美しく、秋の情景が浮かんでくるようだ。

(文責 戸津川政世)

銅賞 ③ <sup>りらくじょう</sup> 離洛帖 <sup>たか はし まちこ</sup> 高橋真知子 (江津市)

藤原佐理「離洛帖」の臨書。古典の特徴である勢いと力強さを表現した活気のある作である。

(文責 山崎 銀川)

銅賞 ③ <sup>もん</sup> 門 <sup>いし はら まきこ</sup> 石原真紀子 (出雲市)

中央にある黒い塊が深く、構図が安定している。下部のかすれが門の中に吸い込まれるようで、その先には、どんな世界が広がっているのか想像させる作品である。

(文責 中尾 弘子)

銅賞 ③ <sup>きらめき</sup> 煌 <sup>かさ い やす ひろ</sup> 笠井康博 (大田市)

側筆を使い濃いめの澄んだ墨色で、偏を引き締め、旁は伸びやかに躍動した構成が調和を生みだしている。

気力の溢れた快作となった。

(文責 三代 郁子)

## 入 選

「第1部 漢字」

	題 名	氏 名	備 考
	杜甫詩	梶 谷 真 由 (出雲市)	島根書道会特選
③	僧略造像記	森 下 沙 和 (浜田市)	島根書道会特選
	晚峰	藤 原 八代美 (雲南市)	島根書道会特選
③	書譜	木 村 優 子 (浜田市)	島根書道会特選
	千峰黛色因	山 本 波 留 (大田市)	島根書道会特選
	積時帖	西 田 杏 奈 (浜田市)	島根書道会特選
	書譜	柿 木 和 子 (雲南市)	島根書道会特選

題名	氏名	備考
汾上秋驚	今井真由(出雲市)	島根書道会秀作
十七帖	石川翠(益田市)	島根書道会秀作
温泉銘	工藤利恵(浜田市)	島根書道会秀作
庭前有月松無	伊藤汀女(大田市)	島根書道会秀作
書譜	今代淳子(浜田市)	島根書道会秀作
李嶠詩	吉田みのり(松江市)	島根書道会秀作
急行無善歩	三谷和子(大田市)	島根書道会秀作
祭姪文稿	土江清山(雲南市)	島根書道会秀作
温泉銘	星野寿邦(雲南市)	島根書道会秀作
王之渙詩	錦織美貴(雲南市)	島根書道会秀作
李白詩	若槻栄子(雲南市)	島根書道会入選
杯深和月吸	遠藤美佐子(大田市)	島根書道会入選
伊都内親王願文	竹田佑季子(浜田市)	島根書道会入選
伊都内親王願文	宅野奈津子(益田市)	島根書道会入選
弓矢舟車	佐々木結花(浜田市)	島根書道会入選
風信帖	亀山桂月(雲南市)	島根書道会入選
七律横披	和田由実子(大田市)	島根書道会入選
湖上	永見麗月(雲南市)	島根書道会入選
集字聖教序	西川溪石(雲南市)	島根書道会入選
風信帖	小出登志子(浜田市)	島根書道会入選
陸游詩	錦織清峰(雲南市)	島根書道会入選

「第2部 かな」

ながれくる	角裕舜(松江市)	島根書道会特選
敷島の	錦織君子(雲南市)	島根書道会特選
ちはやぶる	郷原華江(出雲市)	島根書道会特選
阿弥陀佛に	佐藤晴空(松江市)	島根書道会秀作
秋かぜに	畠山千鶴(松江市)	島根書道会秀作
八雲たつ	石田遥華(出雲市)	島根書道会秀作
散りかかる	庄司里美(松江市)	島根書道会秀作
人形が	野村八重野(浜田市)	島根書道会入選
冬菊の	池尾武(松江市)	島根書道会入選
大空と	大島由紀(大田市)	島根書道会入選
こまやかに	宗近惺月(江津市)	島根書道会入選
てのひらに	山本照江(松江市)	島根書道会入選

「第3部 近代詩文」

橋本多佳子の句	大井智子(雲南市)	島根書道会特選
中川永子の句	福田茜丹(松江市)	島根書道会特選
伊藤静雄の句	藤井佳恵(出雲市)	島根書道会秀作
三谷昭の句	清水洋子(松江市)	島根書道会秀作
佐藤春夫の句	三島文江(出雲市)	島根書道会秀作
康の詞	渡部如英(奥出雲町)	島根書道会入選

題名	氏名	備考
久女の句	小 笹 浩 子 (松江市)	島根書道会入選
宗左近の句	松 本 さなえ (松江市)	島根書道会入選
斎藤香坡の詩	山 口 峰 雲 (松江市)	島根書道会入選

「第4部 大字書」

旋	郷 原 舞衣子 (大田市)	島根書道会特選
顕	松 浦 益 子 (大田市)	島根書道会特選
富	松 浦 順 子 (大田市)	島根書道会特選
繫	山 内 真澄美 (大田市)	島根書道会特選
晟	三 谷 耕 司 (大田市)	島根書道会秀作
絢	黒 瀬 香緒利 (大田市)	島根書道会秀作
無	竹 下 妙 子 (大田市)	島根書道会秀作
心	釜 田 英 子 (大田市)	島根書道会秀作
臥	松 浦 桂 子 (大田市)	島根書道会秀作
挑	谷 口 陽 子 (大田市)	島根書道会秀作
隧	雲 石 優 子 (大田市)	島根書道会秀作
雅	竹 下 良 子 (大田市)	島根書道会秀作
寿	高 橋 かをる (大田市)	島根書道会秀作
濤	田 中 美 紀 (大田市)	島根書道会秀作
孝	森 山 孝 子 (大田市)	島根書道会秀作
笑	山 根 京 子 (大田市)	島根書道会入選
通	松 本 颯 生 (大田市)	島根書道会入選
童	平 田 美保子 (大田市)	島根書道会入選
花	福 間 範 子 (大田市)	島根書道会入選
希	山 本 道 子 (大田市)	島根書道会入選
桃	安 藤 栄 子 (大田市)	島根書道会入選
神	木 村 貴 子 (大田市)	島根書道会入選
舞	松 原 良 子 (大田市)	島根書道会入選
風	福 田 知 子 (大田市)	島根書道会入選

「第5部 前衛」

② 和	原 納 芳 道 (益田市)	島根書道会特選
② メイ	塩 月 智香子 (浜田市)	島根書道会特選
メイ	大 草 明 美 (浜田市)	島根書道会特選
わい	井 上 範 子 (浜田市)	島根書道会特選
縁	樋 野 不二子 (浜田市)	島根書道会特選
時	三 宅 撰 美 (浜田市)	島根書道会秀作
ゆう	山 崎 重 子 (浜田市)	島根書道会秀作
欺瞞	左田野 倫 (浜田市)	島根書道会秀作
しん	中 谷 聡 恵 (浜田市)	島根書道会秀作
トウ	岡 田 恵 子 (浜田市)	島根書道会秀作
兆	藤 下 新 葉 (益田市)	島根書道会秀作
きよく	宮 本 綾 子 (浜田市)	島根書道会入選

題名	氏名	備考
よう	山根里美(浜田市)	島根書道会入選
弾み	西田洋子(浜田市)	島根書道会入選
しょう	前田典子(浜田市)	島根書道会入選
チョウ	當木恵美(浜田市)	島根書道会入選
器	佐野博子(大田市)	島根書道会入選
感	梅田賀千(江津市)	島根書道会入選

「ニューホープ部」

⑩	斐將軍詩	坂井虹乃(浜田市)	島根書道会ニューホープ賞
⑩	弔古戦場文	山平悠斗(浜田市)	島根書道会ニューホープ賞
	木簡	祐源夏実(松江市)	島根書道会ニューホープ賞
	華やぐ微笑み	石倉葉月(松江市)	島根書道会ニューホープ賞
	潤子の句	菊地佐歩(松江市)	島根書道会ニューホープ賞
⑩	華	三谷紗(大田市)	島根書道会ニューホープ賞
⑩	将	中村蓮花(大田市)	島根書道会ニューホープ賞
	黄州寒食詩跋	森岡愛葉(浜田市)	島根書道会ニューホープ部特選
	石鼓文	安達万桜(松江市)	島根書道会ニューホープ部特選
	楽毅論	柴村さくら(浜田市)	島根書道会ニューホープ部特選
	灌頂記	加藤もえな(浜田市)	島根書道会ニューホープ部特選
	雲	平田心愛(大田市)	島根書道会ニューホープ部特選
	枯樹賦	森吉優葵(松江市)	島根書道会ニューホープ部秀作
	木簡	能美奈瑠美(浜田市)	島根書道会ニューホープ部秀作
	白菊の	斉藤こまち(江津市)	島根書道会ニューホープ部秀作
	遠い日の面影	宮廻瑛衣(松江市)	島根書道会ニューホープ部秀作
	心	釜田哲心(大田市)	島根書道会ニューホープ部秀作
	史頌偈	長澤珠代(浜田市)	島根書道会ニューホープ部奨励賞
	白雲の	山田颯花(江津市)	島根書道会ニューホープ部奨励賞
	風が運ぶ	中村理乃(松江市)	島根書道会ニューホープ部奨励賞
	狩行の句	樋口亜弥(松江市)	島根書道会ニューホープ部奨励賞

## 招待

	題名	氏名	備考
⑩	宮坂静生の句	吾郷純子(出雲市)	
⑩	不知老之将至	浅野江涯(江津市)	
⑩	登	飯田徹山(大田市)	
⑩	おもふこと	伊藤蘭峯(松江市)	
⑩	誠	井上洋美(大田市)	
⑩	松風の	植田畦水(江津市)	
⑩	墮	沖田天山(江津市)	
⑩	跳	小田厚美(益田市)	

	題名	氏名	備考
	飯田龍太の句	鎌田敬子 (出雲市)	
	山頭火の句	角折和夫 (雲南市)	
⑩	太平樂詞二首	戸津川政世 (浜田市)	
⑩	そう	中尾弘子 (浜田市)	
	花と見る	長浜晴風 (出雲市)	
⑩	巫女舞を	野上昭子 (浜田市)	
	逆	三代郁子 (大田市)	
⑩	晩秋	室下景雲 (雲南市)	
⑩	従軍行	矢研田節子 (江津市)	
⑩	熱	山崎銀川 (大田市)	
⑩	賀蘭汗造像記	山本英雲 (松江市)	
	群	渡辺玄海 (松江市)	

# 洋画

応募点数	70点	招待作品	43点
入賞点数	7点	展示点数	103点
入選点数	53点	移は移動展出品作品	

(総評) 応募作品が昨年より少なくなったことは残念ですが、作品の傾向が多様になり、華やかで楽しい会場になっています。

洋画部門の審査員は約30人で、それぞれの志向や絵画観で審査をする中で、入賞作品は多くの票を集め、納得できるものでした。造形意識が高く密度のある作品は、引き込まれるような魅力があります。惜しくも入賞を逸した作品の中にも佳作があり、制作に挑戦する意欲が伝わってきて大いに興味を引かれます。今回、出品数が増えた水彩画の中にも力量を感じる作品が多かったです。

この展覧会への出品・展示が、次の制作への励みになることを願っています。様々な表現のあり方を学び、自分の課題を見つけられることが大切ですが、その上で思索し、自分の感性に訴える作品づくりを目指していただきたいです。

絵画制作は、自己追求、自己改革に繋がっています。さらなる向上を目指して研鑽していきましょう。

それでは、入賞・入選作品60点に加えて、招待作品43点の総数103点をごゆっくりご鑑賞ください。

(文責 持田 隆志)

## 知事賞 移

### きおく ふうけい 記憶の風景

たに ぐち りょう た  
谷 口 良 太 (出雲市)

民家や納屋の内外を結ぶ空間を典型的な線遠近法に則り、丁寧に緻密に描いた作品である。遠くを弱くすることなく、むしろ絵具の厚いパートを置く所などを工夫し、画面の充実が図られている。澄んだ空気感も魅力的である。

聞けば若い作家で、抽象を含め種々の表現を経ての今作とのこと。今後ともさらに本人のねらいが絞られた表現の模索を期待するものである。

(文責 北本 雅己)

## 金賞 移

### どりーむ DREAM

おがさわら みのる  
小笠原 稔 (松江市)

魚や動物、人物などが建物や路地に所せましと並び、キャラクターのように独特の表情で自由に動き回っているようです。背景に鮮やかな色を配し、画面にポップで動き回るような軽やかなイメージを与えています。この作品の魅力は遠くから見て全体的な色や形に調和があること、そして、目を近づけて、一つ一つの自由で個性的なキャラクターが発しているメッセージを感じるとる楽しさと夢があふれているところだと思います。

(文責 山岡 晴夫)

銀賞 ③

めぐる  
廻

わた なべ き 代 (出雲市)

桜の花を愛でる母娘の美しい光景を描いています。マチエール（下地）を巧みに生かし、美しく色彩構成されました。青い空の中に桜の花色が広がっています。その中で母娘の姿を巧みなデッサン力で表現されました。逆光を美しい緑色で表現し、その表情からも母娘の愛情が伝わって来ます。

(文責 鳥屋尾 敬)

銀賞 ③

りょじょう  
旅情

まさ くに きょう こ (松江市)

長年、ベネチアの旅情をテーマに取り組んでこられたベテランの作風が漂う佳作である。「高級な絵具を使えば良い絵が描けるわけでもなく、高級な食材を使えば旨い料理ができるものでもない」と誰かが言った。絵も料理も無駄な背伸びをすることなく、堂々と、潔く、作者の意図が明確に伝わってくるものが良いと思う。それがこの絵にはある。デッサンの多少の狂いも気にならず、色調とタッチの魅力に引き込まれた。

(文責 田中 敬二)

銅賞 ③

はんすう  
反芻

た なか な な (松江市)

反芻というのは偶蹄目の草食動物の食事の方法ですが、繰り返し考えてよく味わうという意味も持ちます。

大胆な三角の繰り返しの構図で、明度の差を大きくして見るものを惹きつける構成になっています。それぞれの物に本人なりの意味を含めていると思いますが、少し欲張りすぎた感もあります。

まだ十代とのこと、これからさらに大きい作品にも是非挑戦していただきたいと思います。

(文責 春日 裕次)

銅賞 ③

ま あ  
混ざって、在って。

い とう あや か (出雲市)

雨中の電車の中での心象風景であろうか。

二人の人物の手元を見つめるちょっと寂しそうな表情が、窓に流れる雨だれの表現とともに一層見る人に切なさを誘っています。

画面全体を寒色にまとめることによって、若者らしい感性の豊かさがより感じられる秀作となっています。

これからも力作の出品を期待しています。

(文責 杉谷 俊一)

## 銅賞 ⑩

こほうだき  
五宝滝わく だ とし お  
涌 田 稔 郎 (広島県)

岐阜県八百津町の名瀑、五宝滝の紅葉の季節をモチーフにしている。黒い紙を切り抜いた線とその間に置いた柔らかい色調の和紙が心地よいリズムを生み出している。

縦に落ちる直線的な滝と、左右にある木々とそれを繋ぐ橋の曲線がうまく配されている。線の強弱や色面の大小などの変化を工夫することで更なる進展が期待できる作品である。

(文責 金築 秀俊)

## 入 選

	題 名	氏 名	備 考
⑩	カキツバタ自生地 (牧野博士の夢)	池 野 達 志 (浜田市)	
⑩	ウミちゃんオトちゃん	澄 川 貢 (益田市)	
⑩	咲きほこる	桃 木 榮 子 (浜田市)	
	アップルとジャンガリアン	屋 原 絵 理 (邑南町)	
	湖畔のテラスの女	涌 田 毅 (松江市)	
	NOW & THEN	渡 部 陸 浩 (松江市)	
	光る城下にそり立つ千鳥城	宍 戸 紀 文 (松江市)	
	桔梗と月	三 桐 綾 子 (海士町)	
	手綱さばき「牛突き・陶器一式」	石 川 修 夫 (出雲市)	
	休息の刻	錦 織 透 (松江市)	
	幸せを届けるサーカス団	赤 名 一 真 (松江市)	
	早春の増上寺と東京タワー	星 野 武 吉 (松江市)	
	Bon Voyage	山 田 美 鳥 (大阪府)	
	悠久の時	塩 川 はるみ (松江市)	
	流れるままに	柏 原 佑 佳 (松江市)	
	休息	山 根 早 苗 (雲南市)	
	庭の仲間たち	田 邊 哲 子 (松江市)	
	帰還	太 田 小百合 (鳥取県)	
	出漁	藤 川 裕 司 (出雲市)	
	焼けた山	金 築 克 郎 (出雲市)	
	歓喜	杉 本 啓 子 (出雲市)	
	大蛇	日 野 睦 (出雲市)	
	考えごと	池 尻 都 (松江市)	
	窓辺のクマさん	安 田 千津子 (福岡県)	
	桃トム来たよ	村 上 かおり (美郷町)	
	残雪の三瓶山	坂 井 市 枝 (美郷町)	
	岸壁と家	山 本 百合子 (松江市)	
⑩	夕べの祈り	金 谷 実 (益田市)	
	夕焼け	古 谷 幸 憲 (大田市)	
	performer II	佐 藤 茂 雄 (松江市)	

	題 名	氏 名	備 考
	火鉢のある部屋	非 々 玲 子 (川本町)	
⑩	春の豊ヶ浦	萬 田 みち子 (浜田市)	
	大イチョウ	大久保 実 (雲南市)	
	想華	横 山 恵 子 (松江市)	
	雨のスクランブル交差点	梅 木 美 鈴 (奥出雲町)	
	一宮参道	間 庭 喜美江 (松江市)	
	春を待つ	高 見 秋 彦 (松江市)	
⑩	漁師のロマン ありがとう	天 野 勝 則 (江津市)	
	かぼちゃととうもろこし	陶 山 本 子 (雲南市)	
	藤と廃車	荒 木 志 穂 (松江市)	
	予測不可能な未来へ進む	須 山 留実子 (松江市)	
	12月のY	曳 野 みどり (松江市)	
	青日	落 合 正 和 (松江市)	
	隘路	來 海 豊 (松江市)	
	鯨のはらわた	永 原 陽 子 (松江市)	
	アンモナイトの世界	黒 田 久仁子 (松江市)	
	夕映えの古浦港	佐 藤 健 (松江市)	
	冬暁	川 口 麗 奈 (鳥取県)	
	からふる	長谷川 智 (安来市)	
	出雲神在月	田 辺 明 光 (松江市)	
	ちーちゃんと仲間達 II	周 藤 紀 恵 (安来市)	
	里の夕日	門 脇 豊 (松江市)	
	一時の明るさ	平 井 伸 一 (松江市)	

## 招 待

	題 名	氏 名	備 考
⑩	雲中供養菩薩	鳥屋尾 敬 (出雲市)	審査員
⑩	広場	北 本 雅 己 (出雲市)	審査員
⑩	挑動	春 日 裕 次 (出雲市)	審査員
⑩	GYM	金 築 秀 俊 (出雲市)	審査員
⑩	ガラスの詩	永 尾 和 子 (浜田市)	審査員
⑩	夏の日	片 岡 春 江 (浜田市)	
⑩	現場のひととき	福 田 佳 史 (出雲市)	
⑩	飛泉 (浮浪滝)	原 増 男 (出雲市)	
	クレマチス	井 上 富美子 (出雲市)	
	象と雨と…	岩 田 悟 (出雲市)	
⑩	春陽	新 宅 梢 (浜田市)	
	scene	園 山 裕 子 (出雲市)	
	仲間に入りたい	門 脇 悦 男 (松江市)	
	残存 (廃材置き場)	井 上 春 雄 (松江市)	審査員
	メッセージ・プラの行へ	岩 崎 久美子 (安来市)	審査員
	窓辺「II」	岩 田 明 美 (松江市)	審査員

題名	氏名	備考
ある日の対話	岩田 賀代子 (安来市)	審査員
小伊津	梶谷 修弘 (出雲市)	審査員
Noah (難民たち)	鹿島 昭一 (松江市)	審査員
何処へ	勝田 敏夫 (松江市)	審査員
不思議な部屋へどうぞ	神門 芳子 (松江市)	審査員
恐怖	神庭 明 (安来市)	審査員
港	杵築 伸 (出雲市)	審査員
巡る刻	木下 幸子 (松江市)	審査員
風に吹かれて	藏敷 真弓 (出雲市)	審査員
光を求める	栗原 清司 (松江市)	審査員
⑩ 冬の始まり	近藤 隆 (安来市)	審査員
彦春 (出雲神楽)	佐藤 收男 (出雲市)	審査員
⑩ ジャックの死 (右側絵)	渋谷 慎治 (益田市)	審査員
⑩ 月山	水津 保美 (津和野町)	審査員
⑩ 白露	杉谷 俊一 (松江市)	審査員
川の始まり	杉原 孝芳 (出雲市)	審査員
⑩ 自我像	田中 敬二 (大田市)	審査員
こども	常松 淳子 (出雲市)	審査員
～お謎	花谷 久代 (安来市)	審査員
森の詩	樋野 梢 (松江市)	審査員
⑩ 杜の聲を聴け	持田 隆志 (出雲市)	審査員
⑩ visiting Ne-no-Kuni 弐	森山 恭 (出雲市)	審査員
⑩ 風のかたち 24-2	山岡 晴夫 (出雲市)	審査員
USO	江角 奈美 (出雲市)	
CARPE DIEM ~ thirst	島田 史 (松江市)	
Mather nature	仲佐 和子 (松江市)	

# 工芸

応募点数	43点	招待作品	14点
入賞点数	7点	展示点数	54点
入選点数	33点	④は移動展出品作品	

(総 評) このたび、鳥根県総合美術展の工芸部門の審査員として初めて参加させていただきましたが、どのような作品に出会えるのか、期待感いっぱい審査会場に入りました。

今年の工芸部門には一般応募作品は43点。審査員の投票と慎重な審議により3点が選外となり、入選作40点のうち7点が優秀賞に選ばれました。昨年と比べ一般募集の作品数は減となりましたが意欲作も多く、昨年より出品されるようになったちぎり絵が展示会場に彩りを添えています。

いくつか印象に残ったものを挙げると、応募点数のなかでも一番多い陶芸では、高校生からベテランまで力作も多く、なかでもご夫婦で切磋琢磨し、作品制作に取り組んでいる方もおられ、大変ほほえましく思いました。また新人賞には陶芸から2名選ばれています。使い勝手のよさそうなカップ&ソーサーは、高校生の作品で丁寧な仕事に感心させられました。様々なシューズをいろいろな焼き物で表現した作品は、繊細な表現にもかかわらず、どこかユニークで温かみを感じるものでした。

受賞7作品に目を移すと、部門別では染織1点、陶芸2点、人形2点、七宝1点、籐細工1点となりますが、力作、意欲作が選ばれています。特にこれまで誰も表現したことがないような、見たことがないような、そういう新しい表現をめざし取り組まれた努力の成果だと思われます。これからも地道に、そして謙虚に制作を続けていただきたいと思ひます。

蒔絵の人間国宝・松田権六さんは、ものをつくる作家として生きていくための必要な学び方を述べられています。それは「人から教わる」、「ものから教わる」、「自然に学ぶ」の三つの学び方です。幸い松江は豊かな自然に恵まれ、茶の湯文化や民芸など昔から工芸が盛んな地域で、多くの偉大な先人たちを輩出しています。先人に、作品に、そして自然に学ぶことで、さらにレベルアップをはかり県展充実のためさらなる高みをめざし、精進されることを期待しています。

(文責 藤井 茂樹／新見美術館館長)

知事賞 ⑧

よしの なご や おび じ  
よこ吉野名古屋帯地

みや ぎき みち よ  
宮崎倫代 (松江市)

初出品ながら堂々の知事賞受賞は、丹念で丁寧な仕事が評価されました。よこ吉野織りは、4本以上のたて糸の束の上に、よこ糸の浮きが規則的に織り込まれ、平織りの中によこ糸の変化が交互に表れ模様を表現します。本作は、たて糸には紬糸が760本、よこ糸には艶のある丸ねりの片より糸が使用されています。たて糸はゲンノショウコ、よこ糸はヤマモモで染色されているそうです。たて糸に紬糸を使用するとたて糸の開口が困難であるが、あえて地をマットな感じにするため、浮いたよこ模様を艶やかに表現する工夫がされています。また帯の両端にはグラデーションを用いた表現が使われており、上品な中にも飽きのこない作品に仕上げられています。このたびの染織作品は1作品のみでしたが、この受賞を糧にさらなる高みを目指していただきたいと思います。次作に期待するところです。

(文責 藤井 茂樹/新見美術館館長)

金賞 ⑧

そめつけ きんさいつばきもん か き  
染付金彩椿文花器

あら お く み  
荒尾久美 (大田市)

本作は、作者が長年取り組んでいる造形表現で、これまでも受賞を重ねて一定の評価を得ており、今回は新たに動きのある表現を加味して金賞に輝いた。

口の開いた長壺の器胎に、テーマの大柄の椿文様が青味をおさえた染付と黒釉で描かれ、作者がマンダラ文という特徴的な装飾文を散らす。さらに椿には金彩の縁取りや飾り文様で加飾する。本作では肩から胴部にかけて石見の赤土の土見せと白い釉薬が施され、全体に動きと華やかさが感じられる。6年連続入賞でその間2度目の金賞である。

(文責 藤間 寛)

銀賞 ⑧

しほうけん まんく せしやたてむしじんじゃ  
つなぐ・四方剣(万九千社立虫神社)

うえ の ゆき み  
上野幸美 (出雲市)

つなぐというタイトルのごとく、伝える方の心を真剣に受けとめた目は、輝いています。狩衣の赤は、とても上品です。この赤の和紙は、特別にお願いしてすいてもらったそうです。柄は、ひと柄づつ切り取って、張りつけてあります。鈴も手作りです。細かい作業を根気よくされていて感心しました。さらなる進化を、期待致します。紙塑人形とは、独自の粘土で形を作り、色付けは、和紙を貼り合せて、思いの色を出します。

(文責 吾郷江美子)

銀賞 ③

ゆうせんしっぽうこうす いちりんそう かだ きょうこ (出雲市)  
有線七宝合子「一輪草」 加田香子

昨年に続き、受賞おめでとうございます。連続受賞は安定した実力の証だ。

一輪草がもつ可憐さを、中心の葉を明るい緑色のグラデーションで、縁にいくに従ってトーンを落とした緑色のグラデーションで表現している。また艶消し仕上げにすることで、より品がある作品となっている。そして立体七宝を制作するにあたり基礎がしっかりしているので作品が小さくても力強さを感じる。

覆輪も作品の一部。もう一工夫したらより魅力的になると思う。

(文責 松本三千子)

銅賞 ③

しそわしぼり まつもと わかこ (松江市)  
紙塑和紙貼「おかあさんといっしょ」 松本輪加子

まず仲の良い母子の姿に、頬が緩みます。

技術的にも高いレベルで、特に見ていただきたいのが後ろから見た時の躍動感です。

一方で、腕の配置や視線に若干の改良の余地があるようにも思われます。例えば、腕の位置や視線をもう少し下に向けるようにすれば、更に「動き」が見えるようになるのでは、ないでしょうか？

その他「暖みを感じる色合」「大人と子供の体型の作り分け」等が審査員から高い評価のあった作品です。

(文責 石村 稔)

銅賞 ③

てびきとういしだたみぐみ てつきかご あじさい ふじ たま 理 (出雲市)  
手挽籐石畳組手付籠 紫陽花 藤田真理

初出品ながら銅賞受賞は、県展への出品を考えている人たちに勇気を与えてくれます。作者は松江藩籐細工の6代長崎誠さんに師事し、制作を続けてこられました。本作に用いられている石畳という技法では、曲面、いわゆる籠の表面に膨らみをもたせるという表現には不向きと言えます。作者は籠中央部から籠上部や下部に移っていく石畳を1mmずつ段階的に大きさを変え、組み合わせていくことで籠に柔らかみを持たせる曲線を見事に表現しています。籠底の表現には松江藩籐細工に伝えられる伝統的な編み方による表現がほどこされています。

これまで誰も見たことのない表現にこだわり続け制作した賜物であると思われます。県展への出品は、本作が最初で最後のつもりで制作に集中されたようですが、今後も新たな表現をめざし、努力して欲しいと思います。

(文責 藤井 茂樹／新見美術館館長)

銅 賞 ⑨

こくはくさいしのぎつぼ  
**黒白彩鎬壺**

ふる かわ こう き (出雲市)  
 古 川 幸 希

黒彩土（黒い顔料を入れた土）で作成した堂々とした壺である。

全体を分厚く作り、らせん状に鎬（しのぎ）を入れながら、リズムカルに仕上げている。

鎬（しのぎ）とは、刀などの刃の背に沿って小高くなっている部分のことで、計算されたしのぎは驚くほど丁寧に細かく表現されており、作者の大変な努力をうかがわせるものがある。上部には黒白の練り込みを配し工夫の跡がみられるが、はたしてこの練り込みの効果には賛否両論があるように思われる。

黒彩土は、きめが細かく収縮率も大きいので、時としては熱で変形することもあるなか、上手く処理をされた秀作である。

昨年作品より数段も良くなっており、来年の更なる進化を期待したいと思います。

(文責 犬山 卓也)

入 選

	題 名	氏 名	備 考
	無心	三 島 汎 (飯南町)	
⑨	コーヒーカップ&ソーサー	川 上 雄 大 (松江市)	島根工芸連盟新人賞
	蕎麦猪口	永 江 妙 子 (松江市)	
	刷毛目鉢	永 江 妙 子 (松江市)	
	北殿町鑿台	石 原 幸 雄 (松江市)	
	柿本人麻呂作石見の国より	高 橋 成 和 (松江市)	
	やすらぎ	郡 司 位 秀 (松江市)	
	鉄絵梅月文皿	板 倉 清 之 (出雲市)	
	焼締水指	越 野 良 一 (松江市)	
⑨	和紙ちぎり絵 艶やかに	小田川 佳 子 (松江市)	
	楠造り拭漆盛器-花卉-	奥 村 和 久 (松江市)	
	根付「酒豪」	福 嶋 次 朗 (安来市)	
	根付「鶴と亀」	福 嶋 次 朗 (安来市)	
⑨	種々シューズ~みんなで出掛け~	小 原 正 之 (松江市)	島根工芸連盟新人賞
⑨	八雲立つ-夕立-	内 部 隆 (松江市)	
⑨	八雲立つ-茜雲-	内 部 隆 (松江市)	
	有線七宝「睡蓮池」	加 田 香 子 (出雲市)	
	花詩Ⅱ	森 山 許 代 (松江市)	
	赤い花瓶と白い花	森 山 許 代 (松江市)	
⑨	和紙ちぎり絵 夢桜	米 田 房 子 (松江市)	
⑨	球体関節人形「うさぎ」	田 中 那 奈 (松江市)	島根工芸連盟賞
⑨	織部・ゴス軸輪花平皿	山 田 正 彦 (松江市)	島根工芸連盟賞
	ちぎり絵 (出雲民藝紙)「母」	尾 野 久 子	
⑨	来待石粉 花器	松 下 純 子 (出雲市)	島根工芸連盟賞

	題名	氏名	備考
	陶筥	藤井 淑美 (松江市)	
	茶盃「初冠雪」	藤井 弘一 (松江市)	
	一輪挿し	藤井 弘一 (松江市)	
	六角皿セット (染付・新三彩・青磁)	西村 仁伸 (松江市)	
⑩	春翠の気吹	福間 達也 (出雲市)	島根工芸連盟賞
⑩	白萩流し壺	江戸端 実 (大田市)	
⑩	滝	松 月 (大田市)	
⑩	茶器	山崎 三仁	
⑩	貝敷梅花皮茶盃 雪映	嘉戸 秀樹 (江津市)	

## 招待

	題名	氏名	備考
⑩	沈泥彩花器	犬山 卓也 (出雲市)	審査員
	桑縁神代杉桐象嵌風炉先	正木 潤 (出雲市)	審査員
⑩	型絵染 染布	黒川 裕子 (江津市)	
⑩	銅釉茶盃	福郷 徹 (益田市)	
	布張盆「怪談十六桜・乳母桜」	石村 稔 (松江市)	審査員
	紙塑和紙貼「技を継ぐ」	吾郷 江美子 (出雲市)	審査員
	朽造拭漆盛器	濱田 幸介 (松江市)	審査員
⑩	鉄釉・窯変筒茶盃	荒尾 浩之 (大田市)	審査員
⑩	鉄線 志野釉 鉢	螺山 勝實 (浜田市)	
⑩	松造拭漆盛器	村山 創達 (松江市)	
⑩	木綿手紡緋着物「小春日和に」	木下 恵理香 (出雲市)	
⑩	神代杉桐象嵌箱	深田 学 (雲南市)	
⑩	縹縹幾何文花入	内田 和秀 (松江市)	審査員
⑩	桑曲造タモの箱	渡部 良和 (雲南市)	審査員

# 写真

応募点数	120点	招待作品	44点
入賞点数	7点	展示点数	161点
入選点数	110点	移は移動展出品作品	

(総評) 国の重要文化財や天然記念物をはじめ、深い歴史と文化、伝統工芸がある島根は、以前から憧れていた県でした。またこの秋に「日本で最も美しい村」の登録村、海士町の取材を計画していたこともあり、島根県総合美術展写真部門の審査の依頼が来たときは、この偶然性に大いに驚き、島根との不思議な「縁」を感じたことも事実です。

数多くの魅力に満ちあふれた島根を、地元の写真愛好家の方々はどのように切り取り、作品を生み出しているのか。審査をはじめの前から気持ちが高鳴っていました。

第一次審査で皆さんの作品に接したとき、まずはバリエーションの豊かさに驚きます。風景、子供、スナップ、花、祭り、動物、鉄道……と、まるで各地を旅し、地元の人々と会話を楽しんでいるような不思議な感覚を味わうことができました。

作品のレベルが非常に高いことも印象的でした。ただ被写体にカメラを向けるだけでなく、まるで一枚のアート作品を紡ぎ出すような感覚で、考え、練りながらシャッターを切っていることがよくわかります。

選考過程で常に意識していたのは、作品から伝わってくる撮影者の「心情」です。どんな想いで写真を撮り、そして何を伝えようとしているのか……。作品が秘めた「物語」を必死になって受け止める努力をしました。

いまの時代は、スマホで写真を撮り、そのデータをSNSで全世界に発信し共有することが当たり前になっています。しかし今回の審査会で、しっかりと額装された作品と接することにより、「写真表現の原点はプリントにある」ことを確信しました。私は高校生の頃、自分の撮った写真が地元長野県の県展に入選したことがあります。そのときの喜びは40年経った今でも心の中に残り、作家活動を支える原動力になっているのです。

島根県総合美術展には、写真の「礎」が確実に息づいています。いま以上に若い人達にも積極的に参加してもらい、日本の写真文化を盛り上げていってください。

(文責 吉村 和敏)

## 知事賞 移

あらそい  
争

しまもとむつお  
島本睦男(松江市)

普段私達が目にするスズメとは、空から舞い降り、餌をついばみ、再び空に羽ばたいていくという、まるで空気のような希薄な存在です。しかし、島本さんはじっくりとスズメと向き合うことにより、今まで誰も目にする事がなかったスズメたちの豊かな表情や、まるでダンスを踊っているようなリズムカルな動きを、的確に捉えることに成功しました。背景を真っ黒に潰し、二羽のスズメたちを適正な露出で浮かび上がらせる光のコントロールも素晴らしい。また、右上に少しだけ樹木の枝を入れることで、自然界の美しさを伝えた点もお見事です。色々な意味で完成度の高い野鳥作品になっていると思いました。

(文責 吉村 和敏)

金 賞 ④

あき うた  
秋の詩

ふじ はら みえこ (奥出雲町)  
藤 原 美枝子

今回、金賞を受賞された作品「秋の詩」は、紅葉の中に少年たちが太鼓をたたいてリズム感を出しており、周囲の環境の中に音楽誌が聞こえてくるような素晴らしい作品となりました。

題材としての場所の設定がよく、これが一番に成功した要点となりました。

多くの子どもたちの、それぞれの表情がよく撮れており、瞬間芸術の描写も素晴らしく、記録としての価値もあり、見る人に自然界の中で紅葉との相乗効果を見せている、よい作品となりました。

自然界の中にアットホームな作品となり、末永く印象に残る作品ともなりました。

入賞おめでとうございます。

(文責 川本 貢功)

銀 賞 ④

おも  
フェルメールを想う

かじ あき ひろ (浜田市)  
梶 明 広

「フェルメールの想い」というタイトルどおり、この作品はまるで一枚の絵画を見ているようです。作者はフェルメールの絵画を深く理解し、光の柔らかさや明暗のバランスを巧みに活かしています。光が人物をやさしく包み込み、そのコントロールが非常に優れています。この雰囲気の中に、作者の感情が反映され、独自の世界観が表現されています。写真の力強さが感じられる素晴らしい一枚です。

(文責 三加茂幸子)

銀 賞 ④

はな ち  
花の散るらむ

み しま しげみ (出雲市)  
三 島 しげみ

今回の県7賞中、唯一の組写真です。

他のコンテストに出品しても、間違いなく上位に入る作品です。組写真は1枚でも無駄な写真があると、落選してしまうものですが、この3枚組は1枚1枚が力強く、しかも個性があり、極めて完成度が高い。

作者の想いがストレートに表現されている点も評価できる。特に3枚目の写真は完璧過ぎるとも思える正に逸品です。

被写体と向き合い、作品づくりのイメージを高揚させる、感受性とクオリティの高さ、何より作者の審美眼に敬服しました。

銀賞受賞おめでとうございます。来年も素晴らしい作品に会えることを期待します。

(文責 小林 茂雄)

銅 賞 ⑧

くもみゆめ  
蜘蛛の見る夢

つのもりしゅんいち (出雲市)

朝の空気感や朝のさわやかな光を感じる上質な風景写真です。

写真の中ほどには蜘蛛の巣が描写され、朝日に照らされてキラリと光る瞬間を見事に捉えています。そうした中、蜘蛛の巣を風景の中にうまく取り込み、朝もやに包まれる森の神秘的で静寂な美しさを伝える素晴らしい一枚となっています。入賞おめでとうございます。

(文責 大下 浩昭)

銅 賞 ⑧

いずもかえ  
出雲へ帰る

いしくらたいすけ (出雲市)

夕日をバックに赤い電車が駆け抜け、被写体のブレが動感を感じさせる、まさに映画のワンシーンを思わせる作品に仕上がっています。作者の想いや表現したいことが、作品に込められたすばらしいアート作品です。また縦位置にしたことで被写体が強調され、作品性が向上しています。この度は銅賞おめでとうございます。

(文責 藤原 静雄)

銅 賞 ⑧

すまいる

たちばなしんいち (雲南市)

受賞おめでとうございます。

非常に優れたスナップ作品です。

馬と子供さんの絆が、上手く表現されています。

特に馬の安心しきった表情と、子供さんの優しい表情が写真から凄くにじみ出ています。

又感心したのは、右隅に空間をとり空気感が醸し出されていますし、バックを黒く処理されて、主役の馬と子供さんの触れ合いが強調されています。

今後も素晴らしい作品を、応募頂きたいと思います。

(文責 森脇 寿一)

## 入 選

入選110作品のうち写真部門実行委員会賞として以下33点を選定した。

- ・優秀賞（3点）
- ・奨励賞（10点）
- ・特選（20点）

（受賞対象作品は備考欄に記す。また受賞作品以外の入選作品は五十音順で並べる）

	題 名	氏 名	備 考
⑩	五月の朝	牛 尾 吉 郎（奥出雲町）	優秀賞
⑩	幻	大 塚 由美子（松江市）	優秀賞
⑩	ジャンプ	万 代 丸 美（出雲市）	優秀賞
⑩	黄昏の道、静かな時間	長 崎 嘉 暢（出雲市）	奨励賞
⑩	祈願	木 村 克 己（出雲市）	奨励賞
⑩	姉妹	安 達 彰（松江市）	奨励賞
⑩	冒険	森 山 典 雄（大田市）	奨励賞
⑩	荒天	西 上 一 義（松江市）	奨励賞
⑩	里の春	坂 本 新 次（出雲市）	奨励賞
⑩	ひとりの世界	川 上 政 光（出雲市）	奨励賞
⑩	凜	萩 原 陽 子（浜田市）	奨励賞
⑩	ご挨拶	奥 村 茂（隠岐の島町）	奨励賞
⑩	隠れ家	佐々木 誠（江津市）	奨励賞
	神域に向かって	後 藤 孝 司（出雲市）	特選
	小さな勇姿	鶴 島 里 子（松江市）	特選
	凝視	張 玲 姫（京都府）	特選
⑩	涼を求めて	橘 重 孝（大田市）	特選
	不見火	吾 郷 紘 平（飯南町）	特選
	荒海	藤 江 松 男（出雲市）	特選
	朝練	木 村 恭 子（出雲市）	特選
	夢幻蝶影	佐 藤 るり子（松江市）	特選
	涙	田 村 武 雄（松江市）	特選
⑩	全部ここで 流れきって しまえ	石 田 龍 嗣（浜田市）	特選
	黎明	安 部 裕 史（松江市）	特選
	出番待ち	福 寄 富久江（松江市）	特選
	いいね	竹 内 功（出雲市）	特選
	福むすめ	稲 田 崇（安来市）	特選
⑩	晴れの日	森 本 美恵子（大田市）	特選
	落陽	糸 原 輝 幸（奥出雲町）	特選
	レシーブ	吉 井 陸 雄（松江市）	特選
	いにしへの夢想	金 崎 操（出雲市）	特選
⑩	わあ！羊の毛！	松 田 桂（大田市）	特選
	視線	本 田 研 治（出雲市）	特選
	熱演	阿 郷 昌 彦（奥出雲町）	
	瞬	荒 木 和 美（出雲市）	
	大放水	石 倉 貞 昭（松江市）	

題名	氏名	備考
湖の朝	磯田律子 (松江市)	
その扉、開けてはいけないよ	板垣守 (出雲市)	
絆	伊藤以都子 (松江市)	
まなざし	伊藤剛寛 (松江市)	
オニユリ	糸原詩郎 (奥出雲町)	
湖上の華	岩城篤明 (松江市)	
⑩ 炎の競演	岩田毅 (大田市)	
神楽	内田定廣 (奥出雲町)	
自然美	江角好敏 (出雲市)	
お経を唱えて	遠藤勉 (安来市)	
⑩ 祈願	岡本和幸 (浜田市)	
「まって待って」	押柄隆夫 (出雲市)	
解体を待つ母校へ	尾原慶乙 (出雲市)	
ホリデー	勝部幹雄 (松江市)	
夏の思い出	勝部美智夫 (出雲市)	
竜頭が滝の光	岸光夫 (出雲市)	
穏やかな休日	北脇歩 (出雲市)	
古典相撲	木下時雄 (隠岐の島町)	
冬晴れの日	桑原進 (松江市)	
峰に行く	兎島巧 (松江市)	
巴里の思い出	古安正好 (松江市)	
出漁を待つ	坂本憲三 (松江市)	
煙火師	迫光徳 (松江市)	
ねらう	佐藤伸二 (出雲市)	
激翔	品川辰朗 (飯南町)	
夜色	芝原本修 (松江市)	
夜空の華	下川隆直 (松江市)	
神事	高井正幸 (松江市)	
ありがとう	高梨文博 (隠岐の島町)	
巫女さんの笑顔	高橋幸夫 (松江市)	
碓で跳ぶ	竹下朗 (出雲市)	
繕う	竹下敏広 (出雲市)	
水滴をまとめて	武田清 (雲南市)	
冬の訪れ (ハゼの実食べるメジロ)	田中修 (隠岐の島町)	
夜店	田中純子 (松江市)	
歌い伝える	田中博義 (安来市)	
どろんこパレー	田村啓子 (松江市)	
生命の刻	塚本順成 (飯南町)	
夕映え	塚本麻由子 (飯南町)	
夕影	寺本俊行 (松江市)	
閑日	東條直樹 (奥出雲町)	
夜霧	徳島義孝 (雲南市)	
神在の軌跡	柳楽昌宏 (松江市)	

題名	氏名	備考
よこたふ天の河に浮かぶ櫻花	西上耕一郎 (松江市)	
あの夏	新田康彦 (出雲市)	
祭でのひと時	濱 豊 (松江市)	
河口の朝	林 悟 (出雲市)	
浪漫	原 憲治 (出雲市)	
少年時代	原 浩 (安来市)	
⑩ ほくも主人公	樋野淳巳 (浜田市)	
揃い打	福田一壽	
ゴジラ君の休日	福田秀樹 (松江市)	
目指すはあの山頂	藤井 諭 (松江市)	
⑩ 私の散歩道	藤田好太郎 (浜田市)	
⑩ 冬の川 潜水橋の雪	藤田昭平 (江津市)	
一休み	藤原あや子 (松江市)	
少女と風車	堀江利加 (出雲市)	
待つわ	牧原 正 (飯南町)	
浜っ子たち	松岡治恵 (松江市)	
祭の日	松崎敏江 (奥出雲町)	
⑩ 私と茜と夏の跡	眞鍋智浩 (浜田市)	
⑩ 子供の日	三宅 亮 (益田市)	
雪山	森脇勇吉 (安来市)	
見つかった!! (かくれんぼ)	安田 勲 (飯南町)	
ハノイ・路地の朝市	安田朝行 (松江市)	
雨上がり	山岡紀子 (出雲市)	
⑩ 平和の流れ	山崎三仁	
喧騒の中に咲く誘い	山根 拓 (松江市)	
うん!! 一夜嶽牛突き大会より	吉田 徹 (隠岐の島町)	
青い夜	米田直之 (安来市)	
和布刈神事の日	若槻明郎 (松江市)	
冬近し	若林文子 (飯南町)	
けんべきですがね - 中山間地域の疲弊 -	和田 慎 (松江市)	
ノスタルジー	渡部貴志 (松江市)	

## 招待

題名	氏名	備考
巫女参上	太田 勤 (松江市)	
暁の神事	大坂 武 (松江市)	
海と空	川本 貢功 (松江市)	
ハルツの丘	菅野 紘 (松江市)	
夏の夜	波積 薫 (松江市)	
夏景色	松浦潤一 (松江市)	
シャワー	藤原 静雄 (雲南市)	

	題 名	氏 名	備 考
	採餌	春日通男 (出雲市)	
⑩	ローイング	金 築 哲 (出雲市)	
	雪の日	佐々木 聡 (出雲市)	
	空間	常 松 利 理 (出雲市)	
	夫婦漫才	細 田 恵 子 (出雲市)	
⑩	流線	入 江 啓 介 (大田市)	
⑩	リハビリ	根 宜 康 広 (大田市)	
⑩	予兆	吉 崎 佳 慶 (益田市)	
⑩	チンドン屋	三 浦 秋 男 (益田市)	
	十日恵比寿	岡 田 文 夫 (隠岐の島町)	
	光柱現像	若 葉 信 幸 (隠岐の島町)	
⑩	躍る	小 林 茂 雄 (江津市)	
⑩	遠投	井 上 健 治 (浜田市)	
⑩	蒼空に舞う	尾 崎 剛 (浜田市)	
⑩	S Lやまぐち	尾 崎 美 智 (浜田市)	
⑩	侵入者	三加茂 幸 子 (出雲市)	
⑩	静寂	大 下 浩 昭 (松江市)	
⑩	OTAKEBI	川 上 泰 正 (出雲市)	
	フラミンゴ	井 上 豪 (松江市)	
⑩	光彩	森 脇 寿 一 (松江市)	
⑩	気迫せまる!	酒 井 重 礼 (松江市)	
⑩	朝の煌めき	江 川 安 夫 (浜田市)	
	五穀豊穰を願って	田 中 利 博 (奥出雲町)	
⑩	嫁ぐ日	品 川 功 (大田市)	
	荒天	田 村 唯 男 (松江市)	
	暮色	岡 一 夫 (松江市)	
	暴れ龍蛇	石 飛 桂 子 (出雲市)	
	阿形像と昨形像	西 澤 由 英 (奥出雲町)	
	コロナとの戦い	宮 廻 功 (松江市)	
	天仰ぐ	三 次 巧 侑 (出雲市)	
	落日	渡 辺 正 史 (松江市)	
	ネオン街を行く	西 尾 透 (出雲市)	
⑩	午後の地下道	盆子原 政 司 (江津市)	
	受け継がれる伝統	岩 谷 順 子 (松江市)	
	日本海の夕暮れ	大 谷 剛史郎 (飯南町)	
	我が町・桜の季節	前 田 健 (隠岐の島町)	
⑩	二次元のねじれ	松 谷 敏 秀 (浜田市)	

# デザイン

応募点数	44点	招待作品	18点
入賞点数	7点	展示点数	62点
入選点数	37点	◎は移動展出品作品	

(総 評) 今回、過去に私自身もお世話になった方々が県外審査委員で参加され、57回も継続している展覧会に県外審査委員としてお声がけいただき、光栄な思いで参加させていただきました。また、金沢と松江は、和菓子、お茶、城下町など共通点もあり、親近感を持って松江を訪れました。イラスト部門、ポスター部門とも色々な表現にアプローチされ、地元を愛している気持ちが伝わる作品が多く集まっているというのが最初の印象でした。審査の進め方も、会員の皆さんが協力され前日の搬入から当日の審査まで計画的に検討されており、チームワークも素晴らしく審査もスムーズに進めることができました。私も地元で小さな団体をまとめる役職に就いておりますが、見習うべきところがたくさんありました。

審査で心がけているのは、表現に完成度があるか、どういう意味があるのか、時代性を感じることができるかを基本に審査をさせていただきました。1次審査、2次審査、3次審査と進めていきましたが、会員の皆さんとも評価する視点も近く感じ、デザイン連盟の皆さんが持つ視点がバランスよく機能しているように思いました。上位の作品では、1つのテーマに絞り込んで自身の中で意味を突き詰めて表現した作品、立体で図鑑を標本箱に見立てた作品、作品のテーマをあえて日本語以外で表現し鑑賞する側に意味を問う作品、色々な感情を動物にたとえて画面いっぱい表現した作品、身近な素材を使って展開した作品などがありました。欲を言えば、表現だけでなく、表現の中にアイデアで人の気持ちを揺さぶるような作品を今後は期待したいと思いました。会員の方々の作品では1人ひとりがテーマを持ち、色々な表現で提示され、会員間でお互いの作品について語り考え方を共有する機会としてもこの展覧会の意味を感じました。審査前日から、会員の皆さんとお話させていただきました、金沢と松江が似ているように、親近感を持って接してくださり私自身も地元にいるような安心感を持ちながら審査に参加させていただくことができたことを感謝申し上げ、総評とさせていただきます。

(文責 寺井 剛敏/金沢美術工芸大学 教授)

知事賞 ◎

## なんてったって青<sup>あお</sup>

かつ た ゆう すけ 勝 田 優 介 (松江市)

現在、生成AIの普及により、CGでの表現の意味が問い直されています。機械に使用されるのか？機械を使うのか？、今後のデザインで更に重要になると考えます。

作者は明らかにCGを巧みに使いこなして制作自体を楽しんでいます。この作品はデジタル画面を青のモノトーンに絞って、細部まで描き込んで作る行為が、アナログで描く喜びと何も変わらないことを教えてくれます。

(文責 春日 謙一)

金 賞 ④

どう ぶつ ず かん  
動シヨク物図鑑

やま さき え り (松江市)  
山 崎 絵 里

標本をコンセプトに動物をデザート化、ユニークなアイデアで鑑賞する人を楽しませる図鑑も古書らしく風情を醸し出して、イラストレーションで箱の中の世界観を表現。

作者も、きっと楽しみながら作品づくりに夢中になられたと思われます。標本箱も作られたとかで、最高な作品です。県外審査員、寺井先生により決まりました。

(文責 平江 透)

銀 賞 ④

ねこ まち ねこ 道  
猫町猫通り

やま の め 生 (松江市)  
山 野 芽 生

いろんな表情、いろんな形で猫の世界を楽しくにぎやかに手描きで細かく色つけされて。

猫町は鎌倉のお寺で出会った地域猫を世話しているボランティアさんたちの交流から旅先で見つけた風景などヒントに猫の世界観をストーリー化した気になるシーンを思いを馳せながら作成されたもの。

細部まで神経を使って表現してあり、上位に行くんではとっていましたら、県外審査員の寺井先生が銀賞に選ばれました。

(文責 平江 透)

銀 賞 ④

かな や この かみ  
金屋子神

かく はら さ き 樹  
角 原 咲 樹

デザイン作品として、完成度の高い秀作。

特に、金屋子神のイラストの表現が素晴らしい。作者自身のコメントで「力強く堅実なたたら製鉄と相反する、異様な雰囲気をもとう神を表現したいと思いながら描いた」とあるが、まさしく逸話どおりの女神像。女神の逸脱さを上手く表現している。全ての文字を英文字で仕上げ色数を抑えたり、ポイントのみ赤色を入れるところなど、優れたグラフィックテクニックは見事です。次回の作品が楽しみです。

(文責 秋國 紋子)

銅 賞 ④

け ひょうげん  
消しゴムはんこによるタイリングの表現Ⅱ

fukuhanko (江津市)

「消しゴムはんこ」というアプローチがとても斬新です。4つのパターンを重ねるように繰り返し並べる「タイリング」の表現をしていて、間を空けてスタンプすることによって、白く抜けた所がフェンスの網目にも見えてきます。白、黒、緑、黄の配色バランスも心地良く規則正しく並べられ、1枚のテキスタイルデザインのように見えます。

ただ、紙を貼り合わせることによる図柄のずれが気になります。

(文責 奥 美奈子)

## 銅賞 ②

## いわみを見つけて

梶谷大樹 (大田市)

石見の美しい風景が、ストレートに伝わってくる印象深いポスターに仕上がっている。FINDの文字構成と大きさ、風景写真の取り入れ方等は、かなり吟味されたのではないだろうか。

黒字に白抜きのIWAMIの文字が、偶然にもシンメトリーに近い文字構成となり、スッキリした印象を与え、伝えたい情報も一瞬にして伝わり、ポスター本来の目的を的確に果たしている。

(文責 内田 京子)

## 銅賞 ③

## 島根はあなたのいつもおそばに

新宮 恵 (出雲市)

都会から島根に観光で訪れる人々の目的を考える時、「縁結び」や「癒やし」などの言葉が思い浮かぶことだろう。

島根の人々のゆとりや温かさを知ってもらいたいという作者の思いが、書体の持つイメージと共に「お蕎麦」と「お側」をかけた言葉にすることでより強く伝わってくる。

色彩面でも青色の背景に茶系の色でまとめられたそばが、癒やしのイメージを持たせることに成功している。

作者の言葉選びにセンスを感じるので、今後の作品が楽しみである。

(文責 内田 京子)

## 入選

題名	氏名	備考
深い夢Ⅱ	内田 祈 (奥出雲町)	
命綱	森 朱里	
clean the air	勝田 愛弓 (松江市)	
Jiyu <sup>2</sup> kūkan	永原 弘康 (松江市)	
② 旅立ちと帰郷	藤井 さやか (奥出雲町)	県外審査員特別賞
いらないのなら ちょうだいよ	竹森 未唯	
夢色づく しまね	小松 晃子 (松江市)	
歴史が織りなす石垣の美	松村 貴代美 (出雲市)	
暮れゆく空の美	須山 華 (出雲市)	
日差しが導く新しい世界	藤原 依月 (出雲市)	
designs	伊藤 千紘 (大田市)	
シャッターチャンスがありすぎる県	森井 茜 (出雲市)	ポスター部門奨励賞
つなぐ	横田 潤 (出雲市)	ポスター部門奨励賞
しまねのしんぼる	宇谷 史織 (大田市)	
SOS	荒川 遥磨 (奥出雲町)	
沈思	R e l a	
世界中の子どもたちに幸福を	藤原 富貴子 (雲南市)	

題名	氏名	備考
創造する者	日野建一(出雲市)	
⑩ “わん” ダブルな昆虫ランド	細木博文(松江市)	県外審査員特別賞
中原中也-僕は僕が輝けるやうに生きてみた-	関のぞみ(鳥取県)	
社日つあんに春が来た	二岡みえこ(安来市)	イラスト・造形部門奨励賞
享楽 メトロポリス	田中千智(松江市)	
海遊石の種Ⅲ	渡部史也(松江市)	
神は戦争を止めない	山縣翔太(松江市)	
感情と熱	山縣未空(松江市)	
異種共生	立花わたる(出雲市)	
再生 不苦勞	藤原久子(松江市)	
FREEDAMN	永原弘康(松江市)	
7 color girls	若松真奈(松江市)	
3rd year's feelings	永島蒼生(松江市)	
花月夜	貝谷久美子(美郷町)	
ガムシャラ	森脇玄太(松江市)	
光の中へ	小谷朋美(松江市)	
ミラージュ	青木咲樹(出雲市)	
天使たちとともに	林舞倫子(松江市)	
ニヨロニヨロさん~人の喜怒哀楽の感情~	嘉本光留(出雲市)	
紙の中を泳ぐ	藤原富貴子(雲南市)	イラスト・造形部門奨励賞

## 招待

題名	氏名	備考
パウルクレーの主題によるバリエーション	石野眞(松江市)	
⑩ GAHAN2024-03〈鞆・潜む奴〉	寺尾堂(益田市)	
⑩ Dancing on a plate	近藤隆(安来市)	
イラストレーション	遠藤毅(雲南市)	
多様性との向き合い方	秋國紋子(出雲市)	
回想	稲田通子(松江市)	
⑩ 幸せの種を蒔く	内田京子(奥出雲町)	島根デザイン連盟賞
⑩ 百歌花暦~曼珠沙華	奥美奈子(大田市)	
地面効果翼機 MA-O XIV	春日謙一(松江市)	
境目のない世界Ⅱ Boundary free world Ⅱ	玉木喜久代(出雲市)	
海へ下る	柳楽武臣(出雲市)	
Bird-inviting tree	錦織秀行(雲南市)	
MADOROMI	八谷真人(松江市)	
Picture puzzle DISCOVER SHIMANE 2025 MONTHLY SCHEDULE	平江透(松江市)	
戦後の露店	増田竹男(松江市)	
今、ここに咲く	山川房子(安来市)	
惑星造りⅡ	代高田由梨(鳥取県)	
⑩ Water Planet New Chapter Myth. [Birth・Chaos・Sealed]	梶明広(浜田市)	

# 彫刻

応募点数	21点	招待作品	5点
入賞点数	6点	展示点数	26点
入選点数	15点	◎は移動展出品作品	

(総 評) 彫刻は昨年同様に、展示総数が26点になりました。様々な素材や形態で出品されていて、例年ながら出品者各々の世界観が興味深く、楽しみながらの審査となりました。抽象表現・具象表現ともに自分の美意識と探求心に基づいて、多様な表現方法で個性が十分に発揮されている展覧になっています。

「しまねの文化芸術体験事業」では、60歳以上の彫刻会のメンバーと高校生とが、モデルや野菜を前に、2日間共に塑像制作に取り組み、相互の制作ぶりや、時にはその考え方に触れて大きな刺激を受けることができました。毎年継続してきたことですが、このことは次世代育成のために大変意義あることでした。初めての本格的なモデル制作となった高校生の作品の一部を、今展でもその成果としてご覧いただけます。

自身で工夫を重ね独特な技法で制作された作品、素材を駆使して構成し自己表現を試みた作品、素材と格闘し、その特徴を考慮してその良さを引き出しながらの表現にまとめようと試みた作品等々が並びます。

諸事情から制作を続けることが困難で、大きな壁となっているにもかかわらず、逆にそれを励みとし、出品という一歩を踏み出すことに挑戦されている制作姿勢には敬意を表します。

今後も挑戦する気持ちを忘れることなく、生活上の励みとして制作を続けていきたいと思えます。さらにより大きな作品に表現することで、また新たな自分の作品に出会えることを期待しています。

(文責 兼原 啓二／長崎大学 准教授)

## 金 賞 ◎

### すがた い こう 姿の移行

たち ぼな わたる  
立 花 航 (出雲市)

人が進化して、異形の姿に変わっていくようなイメージで制作された作品です。石見の瓦用の粘土を使用し、自作の窯で焼成した素焼きが土台となっています。その土台の上に石の粉で作られた粘土をつけ、さらにそれを削り落とし、磨き上げ、形を整えられています。

植物と人体とを融合させたイメージを継続して追求され、技法も進化しています。丸みと張りのあるボリュームのうねりの中で突起部分と着彩の変化がアクセントとなっています。

(文責 伊藤 眞美)

銀賞 ④

## いもほり

佐藤信光 (安来市)

幼稚園児が学園の畑で芋掘りをして喜ぶ姿から着想を得て、ユーモラスであたたかみのある作風に仕上がっています。海外には子どもを取り巻く厳しい環境の国もあり、平和であたたかな人間関係の大切さを想います。細かな表現を排除した形態と、控えめでシンプルな着彩は、鑑賞者を幸せの世界へ誘ってくれます。

(文責 伊藤 眞美)

銀賞 ④

## 錆びついた都市

石川哲 (出雲市)

鉄という重厚な素材を扱いながらも、縦横の構成の中に情感を感じさせる作品です。都市のきらめきと淋しさを窓越しに眺めているような想いに誘われます。錆のある素材感をうまく生かして、日常の中の不安感も感じさせます。

(文責 伊藤 眞美)

銅賞 ④

## Mother '24

尾添昇 (出雲市)

テーマは変わることなく母子像の制作シリーズです。丸みのある形態と細かな形態をつなげて、優しく豊かで力が感じ取れる作品です。滑らかな表面の肌合いからは、どこかしら芽吹きのようなイメージが感じ取れます。

(文責 伊藤 眞美)

銅賞 ④

## レディの頭像

大畑敬 (松江市)

テラコッタ用粘土に木粉等を加えるなど、素材を自身で工夫されています。西洋的できりっとした意志の強さがある顔立ちです。気になる部分の修正を重ねた労作です。

(文責 伊藤 眞美)

銅賞 ④

## 石妖

山崎恵美 (松江市)

岩石や鉱物からの着想ですが、木彫作品です。クス材の素材感を生かした控えめな彩色ながらも、のみの彫り跡を生かして水晶の質感を出しています。水晶が上に伸び、作品に込められた幻想的な世界を表現しています。

(文責 伊藤 眞美)

## 入 選

	題 名	氏 名	備 考
⑩	ほほえみ	中 尾 柑 菜 (出雲市)	しまねの文化芸術体験事業 彫刻会 奨励賞
	並び幻想を写す	立 花 航 (出雲市)	
	狐	田 中 伶 奈 (松江市)	
	少女	松 谷 伸 吉 (出雲市)	
	女学生	原 増 男 (出雲市)	
	まどろむ	高 橋 由美子 (出雲市)	
	夢のまどろみ	川 島 緋 里 (出雲市)	しまねの文化芸術体験事業
	想	高 田 美 穂 (松江市)	
⑪	月に遊ぶ	郷 田 勝 (江津市)	
	火炎の鳥	坪 倉 孝 明 (松江市)	
	神農仏像	坪 倉 孝 明 (松江市)	
	夫婦、祝い龍	松 本 良 秋 (松江市)	
	震災	佐 藤 信 光 (安来市)	
	観音菩薩像	田 中 修 (隠岐の島町)	
	n	福 間 美 咲 (松江市)	しまねの文化芸術体験事業

## 招 待

	題 名	氏 名	備 考
	力	近 田 裕 喜 (安来市)	
⑩	次へ	伊 藤 眞 美 (出雲市)	
⑪	つれあい	田 中 俊 晞 (江津市)	
⑫	息吹き 24-3	松 本 健 志 (出雲市)	
⑬	トルソ '24	山 岡 弘 廸 (出雲市)	





